

# ♪ わが家のアイドル ♪



伏山  
山下 裕晴ちゃん (3カ月)  
すくすく大きくな～れ♡



楠町  
春田 陸斗ちゃん (0歳)  
ほっぺぷにぷに



佐備  
田中 遥己ちゃん (6カ月)  
明るく元気に育ってね!

## みんなの広場

### 宛先

5 8 4 - 8 5 1 1

住所・氏名(ふりがな)・電話番号  
常盤町1番1号  
富田林市役所  
情報公開課広報係

わが家のアイドル(対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可)は、写真に、**メッセージ(20字程度)**を添え、**住所**、保護者とお子さんの**名前(ふりがな)**、**撮影時の年齢(月齢)**、**電話番号**を記入し、Eメール[kouhou@city.tondabayashi.jp]または、封書で左記の宛先まで応募してください(**Eメールの場合は件名に「わが家のアイドル」と入力してください**)。なお、今応募された場合、掲載は約2カ月後になります。

### 100歳 おめでとうございます!



12月4日、100歳の誕生日を迎えられた坂上 ますのさんを訪問しました。遠方より友人がお祝いに駆け付けられ、大変喜んでおられました。

## 川柳

富柳会 池 森子選  
今月の宿題「希望」

|| 秀句 ||  
杉の子よ真つすぐ伸びよ大地に根

甲田 清井 浩

△選評V杉の木はスギ科の常緑針葉樹で日本の特産である。そして幹は直立して繊維質は強靱。我が子や孫の未来を思うとき大地に根をしっかりと張って強くそして逞しく大きくなれよと親は言う。

奈落にも希望のひかり降る朝

高辺台 児玉 暢夫

青き声夢と希望の通学路

高辺台 矢野 正弓

志望校親の望みが子の重荷

小金台 栗田 昌

絆の輪じわりと希望湧いてくる

山手町 笹原 秀計

子の希望乗せてせつせと父の貨車

須賀 林 澄子

元日にそつと希望が眼を覚まし

津々山台 下村 英子

望むことしきりで夢はまだ未完

選者 吟

※2月号は「短歌」を掲載します(なお、応募は12月31日で締め切りました)。

川柳・短歌・俳句は、それぞれ別のがきで応募してください(1人各5点まで)。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。

3月号の「俳句」は1月31日(水)、4月号の「川柳」(宿題「盛り」)は2月28日(水)、5月号の「短歌」は3月31日(土)までに応募(いずれも必着)してください。宛先は上記をご覧ください。

「ファミリー野外料理教室」  
「子ども宿泊キャンプ」で  
野外活動を楽しもう!

市野外活動協会では、青少年の育成を図ることを目的として、市立青少年教育キャンプ場で「ファミリー野外料理教室」や「子ども宿泊キャンプ」を定期的に開催しています。

●ファミリー野外料理教室

平成19年にスタートし、今年で12年目を迎えます。

開催数も23回を数え、これまでにローストチキンや鯛の塩釜、イカめしなどダッチオーブンを使用した料理や、専用の鍋を使用したパエリアや燻製料理など個人ではなかなか体験できない野外料理を作ってきました。昨年の教室ではピザやスペアリブのパプリカ煮などを作りました。



同協会には、20代〜70代のスタッフが顔をそろえており、子ども達へは若いスタッフが若々しく丁寧な指導を、保護者へはベテランスタッフが経験に裏打ちされた含蓄のある話をするこゝとで野外活動に興味を引きつけます。

そうすることで、いつの間にか参加する家族同士がふれあいながら、和やかな雰囲気調理をします。そして、みんなで協力して作った料理でおなかを満たすと自然と笑顔があふれてきます。

●子ども宿泊キャンプ

教育キャンプとして夏休みに1泊2日で開催しており、小学生3年生から参加が可能です。ただし、教育的な意図がありますので、家族で行くキャンプとは異なり、保護者の手助けがなくても自分でしなければなりません。申込説明会には友達や兄弟姉妹と一緒に来られますが、キャンプの間はグループを分けています。初めて顔を合わせる子ども同士でさまざまな活動を経験することで自主性や協調性を身に付け、子どもの成長を促します。



また、テント設置や料理作り、レクリエーションなどの非日常的な体験を楽しみながら、人間関係を構築していきます。キャンプファイアなどは、この時にしか体験できない内容です。若いスタッフを中心に運営し、ベテランスタッフが要所を締めることで、安全に運営しています。

ファミリー野外料理教室と子ども宿泊キャンプは、30年度も開催しますので、皆さんのご参加をお待ちしています。

●仲間を募集しています

同協会では、ボランティアとして子ども達と一緒にアウトドア(野外料理、キャンプ、スキー、ハイキングなど)を楽しむ仲間を募集しています。興味がある人はお問い合わせください。

生涯学習課(☎26)8062

わがまちこのひと

高みをめざして!跳べ!世界へ!

府立金剛高等学校3年生

野村 綾之介さん

今回は、昨年11月にブルガリアで開催された「世界年齢別トランポリン選手権大会」に日本代表として出場し、銅メダルを獲得された野村 綾之介さんをご紹介します。

野村さんがトランポリンと出会ったのは小学1年生の頃。元気いっぱい動き回る野村さんに、トランポリンの経験があった幼稚園の先生が勧めたのがきっかけ。地上では味わえない空を飛んでいるような感覚と楽しさに、すぐにそのとりこになったそうです。

転機はすぐに訪れ、野村さんの才能に目を付けた選手コースのコーチに見出され、小学2年生から指導を受けるように。小学3年生のときの、全日本ジュニアでの優勝をきっかけに、結果にこだわって競技に取り組む楽しさを学んだそうです。

今回、目標としていた海外での国際大会に出場したことで、さらに精神的に一回り成長したのを感じていると話す野村さん。ただ、これまで多くの大会で優秀な成績を収めてこられた野村さんでも、初めて体験する海外の国際大会の緊張感は、国内の大会とは比べものにならないくらいで、緊張からくる吐き気や発汗などとの戦いでもあったそうです。



大会 初日の演技では、緊張から失敗があり「早く日本に帰りたい」と弱気になったそうですが、コーチの励ましやチームメイトの頑張る姿を見て「弱気になってチームの雰囲気を悪くしてはダメだ」と立て直し、大会最終日の個人別競技で見事銅メダルを獲得されました。

野村さんに今後の目標を聞くと「世界の舞台を経験したことで、自分の長所や課題に改めて気付くことができた。世界のトップ選手とも渡り合うために、ここぞというときの決定力や集中力をもっと上げてベストの演技をしていきたい!」また、2020年東京五輪についても「もちろん出場したい。まだトップレベルの選手との実力の差は感じているが、国際大会などでの経験を積んで数年後には日本代表に選ばれたい」と力強く話してくれました。

日本中が注目する、2020年東京五輪の舞台で日の丸を背負って空中を華麗に跳ぶ野村さんの姿を想像するととてもワクワクします。今後素晴らしい演技とますますの活躍を期待しています!